

ハウチワウンカ

カメムシ目グンバイウンカ科

石川県カテゴリー

準絶滅危惧

国カテゴリー

準絶滅危惧

Trypetimorpha japonica Ishihara

選定理由

全国的に分布が局所的なうえ、生息地の湿生草原は減少している。県内でも分布は局所的で、志賀町の3箇所を確認されているのみである。

形態

体長（翅端まで）3～4mm。体は灰白色で不規則な暗褐色斑がある。前翅は灰白色不透明で中央部は黒色、周辺部に向かって放射状に黒帯を発する。短翅型と長翅型の2型が知られ、通常は短翅型であるが、稀に長翅型も出現する。

国内分布

本州（栃木県以西）、九州に分布する。

県内分布

志賀町。

生態

成虫は8～9月に出現し、湿生草原の中に生育するチガヤで発見される。

生息地の条件

志賀町では、丘陵部の尾根筋に広がるアカマツ・コナラ林の間にある裸地と森林の境界の赤土部分のイネ科草本で発見された。県内の生息環境は従来のチガヤの生育する湿生草原と異なる可能性があるため、詳細な調査による発生地の確認がのぞまれる。

生存の危機

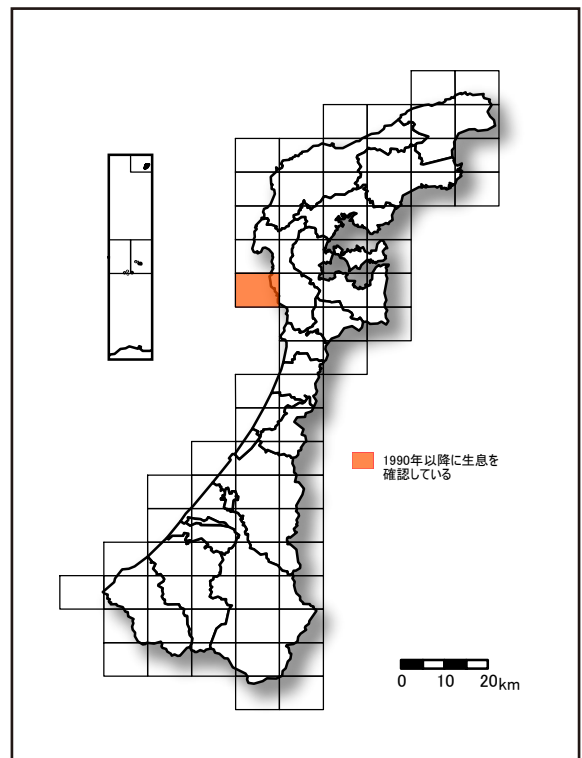
生息場所である平野部の湿生草原は限られており、かつ、開発や植生遷移によって減少している。現在の生息地の保全が必要である。（A）

参考文献

江口元章 2008. 石川県で確認されたハウチワウンカ. 翔, (190) : 7.



標本提供者：江口元章



県内の分布